

第12期川崎市市民文化大使が決定しました

1 第12期川崎市市民文化大使（敬称略、50音順）2組（新任）、10組（再任）

※各大使のプロフィールについては別紙リーフレットを参照

氏名（ふりがな）	職業	就任始期
石田 泰尚（いしだ やすなお）	ヴァイオリニスト	新任
伊藤 多喜雄（いとう たきお）	民謡歌手	7期（H27～）
鵜澤 久（うざわ ひさ）	能楽師	2期（H17～）
大谷 康子（おおたに やすこ）	ヴァイオリニスト	5期（H23～）
大矢 紀（おおや のり）	日本画家	8期（H29～）
小原 孝（おばら たかし）	ピアニスト	1期（H15～）
国府 弘子（こくぶ ひろこ）	ピアニスト	4期（H21～）
佐藤 征一郎（さとう せいいちろう）	声楽家	1期（H15～）
SHISHAMO（ししゃも）	ミュージシャン	8期（H29～）
sumika（すみか）	ミュージシャン	新任
パンチ 佐藤（ぱんち さとう）	スポーツタレント	5期（H23～）
松本 利夫（まつもと としお）	俳優	10期（R3～）



委嘱状交付式での集合写真

前列左から伊藤多喜雄さん・鵜澤久さん・
福田市長・大谷康子さん・佐藤征一郎さん、
後列左から・大矢紀さん・小原孝さん・
国府弘子さん・パンチ佐藤さん・松本利夫
さん。

なお、石田泰尚さん・SHISHAMO・
sumikaの皆さんには御欠席でした。

2 任期

2年間（令和7年12月1日から令和9年11月30日まで）

3 選定方法

市民及び庁内から候補者の推薦を募集し、推薦のあった方のうち、川崎市市民文化大使選考委員会の選考を経て、12組を決定しました。

川崎市市民文化局市民文化振興室 山本
電話 044-200-2122

<川崎市市民文化大使について>

1 目的

川崎市市民文化大使の制度は、平成15年度に設置し、文化芸術・スポーツ等の分野で活躍している方に、市長の代理として交流事業等への参加や、御自身の活動の中で市の広報・宣伝をしていただくことなどにより、市のイメージアップを図ることを目的としています。

2 要件

- (1) 美術、音楽、工芸、映画、演劇、文学、芸能、伝統文化、民俗芸能、スポーツ等の分野において活躍し、その分野に造詣が深い方
- (2) 川崎市内在住者、または、川崎市とゆかりのある方

3 職務

- (1) 国内外の都市との交流事業に参加し、川崎市の紹介や広報・宣伝を行うこと。
- (2) 文化講演会等に出席すること。
- (3) 御自身の活動の中で、川崎市の広報・宣伝を行い、川崎市のイメージアップを図ること。
- (4) 文化芸術及びスポーツ等の振興や川崎市のイメージアップに関する助言を行うこと。

4 任期 2年（再任可）

5 活動実績

川崎市市民文化大使制度の目的に従い、友好都市であるオーストラリア・ウーロンゴン市、米国・ボルチモア市、韓国・富川市、オーストリア・ザルツブルク市に市長と同行あるいは市長の代理として訪問し、文化交流を通じて親善に努めていただいております。また、市関係の各種行事などに出席いただいたり、市民文化大使自身の活動の中で川崎市のPRや広報等を行っていただくなど、イメージアップにも貢献していただいております。

いしだ やすなお
石田 泰尚
Yasunao Ishida



ヴァイオリニスト
Violinist

川崎市出身。2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの頭」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っています。神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。新成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せています。

いとう たかお
伊藤 多喜雄
Takio Ito

民謡歌手
Folk Singer

高津区在住。今や世界中で唄かれている「3年B組金八先生」で知られた南中ソーラン「TAKIOのソーラン節」の生みの親。NHK紅白歌合戦出場(1989、2003年)、「民謡」を音楽の原点である自由な捉え方で、和洋樂器と共にTAKIO BANDの演奏で唄い、表現し伝え、民謡の復活に向けて独自の場を切り開いてきました。唄を通して、地域の活性化を図るために楽曲を提供。日本民謡協会文化賞、川崎市文化賞受賞。日本民謡協会名人位受章(2025年)。



うざわ ひさ
鶴澤 久
Hisa Uzawa

能樂師
Noh Actor



被世流シテ方能樂師として、3歳で初舞台以降様々な曲を演じ、能樂師にとって最奥の山、三老女の内の「捨筵」を平成29年に「施宿」を令和5年に披曲。国内外の公演、また現代演劇にも出演するなど幅広く精力的に活動し、その舞台成果は高く評価されています。平成3年から川崎市において「夏休み能楽体験・鑑賞教室」を指導。重要無形文化財総合指定保持者。安宅賞、川崎市文化賞、観世寿夫記念法政大学能樂賞、伝統文化ボーラ賞優秀賞受賞。

あおだに やすこ
大谷 康子
Yasuko Aonai

ヴァイオリニスト
Violinist

「歌うヴァイオリン」と称され、国内外での活躍が、演奏は絶賛を受け、川崎市での8つの地盤・友好都市等の音楽を集めたコンサートも感動をよびました。司会を務めるテレビ「おんがく父差点」ではジャンルを超えた音楽を届けることで、SDGs社会の実現を目指しています。毎年1月には市内の学校への訪問演奏を行っています。東京音楽大学教授。元東京芸術大学客員教授。川崎市文化賞、文化庁「芸術祭大賞」受賞。公式YouTube「やっこチャンネル」。



おおや めり
大矢 紀
Nori Ohya

日本画家
Artist



麻生区在住。豊かな大地の胎動やみすみずしい牛命の輝きを描き、昭和30年に院展初入選。以後、受賞多數。「50年暮らした川崎に何かを還元したい」という思いから多数の作品を寄贈してくださり、そのうちの1点は川崎市スポーツ・文化総合センター「カルツッカわわさき」に展示されています。川崎市文化賞、2020年神奈川県文化賞、2023年日本芸術院賞受賞。

おばら たかし
小原 孝
Takashi Obara

ピアニスト
Pianist

高津区在住。1999年よりNHK FM「弾き語り フォーキー」「バーソナリティ」、54枚のソロアルバム発表、全国各地で2000回以上のコンサート、市内の演奏会にも積極的に出演。2025年デビュー35周年を迎えました。東日本大震災復興支援へ途とてよかったです。気仙沼市をはじめとした被災地においてボランティア活動も積極的に行っています。尚美学園大学客員教授。川崎市文化賞受賞。



くにふ めいこ
国府 弘子
Hiroko Kokubu

ピアニスト
Pianist



川崎市出身。数々の演奏経験を経てその音色にますます深い情感をたたえ、ジャンルを超えた共演者から熱いラブコールの絶えないオンリー・ワンのピアニスト。2027年、デビュー40周年を迎えます。「かわさきジャズ」「アルティック・シン・ユリ」でもお馴染み。尚美学園大学、平成音楽大学客員教授。川崎市文化賞受賞。

さとう せいじゅう
佐藤 征一郎
Seiichiro Sato

声楽家
Vocalist

高津区在住。ドイツの歌劇場専属首席バス歌手として活躍。帰国後もオペラ、コンサート、特に前人未到のドイツ歌劇30年連続独唱会を完遂。約50年のC.レーヴ=演習研究が認められ、ブライ、モル、フィッシャーベニアスカウムとドイツ以外の外国人初の国際C.レーヴ=協会名譽会員に推挙される。孔足学園音楽大学名誉教授。文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部大臣新人賞、川崎市文化賞等受賞。二期会会員。



れしゃま めぐみ
SHISHAMO
SHISHAMO

ミュージシャン
Musician



すみか
sumika

ミュージシャン
Musician

川崎市出身のスリーピースロックバンド(Gt/Vo 宮崎朝子、Ba 松岡彩、Dr. 吉川美芽貴)。川崎慈心科学高校軽音楽部で結成され、2013年春に本格始動。2017年にはNIKK紅白歌合戦に初出場するなど、「音楽のまち・かわさき」から全国へと羽ばたきました。10~20代女性を中心に幅広く支持され、ライブでも川崎出身であることを発信し続けています。令和8年6月の川崎でのワンマンライブをもって、活動終了することを発表しています。



ぱんち さとう
パンチ佐藤
Punch Sato

スポーツタレント
Former Baseball Player, TV Talent



川崎生まれ川崎育ち現在も川崎市在住。元プロ野球選手。引退後は、元気配達人をキャッチフレーズにスポーツタレントとしてテレビ、ラジオ、講演会、一日警察署長など多方面で活躍しています。現役時代から、独特の語り口による印象的なコメントでプロ野球ファンを魅了。現在も、多くの人に元気を届けています。大使として美味しい町川崎を発信中。

まつもと としあ
松本 利夫(EXILE)
Toshio Matsumoto (EXILE)

俳優
Actor



川崎市出身。EXILEのメンバーであり、俳優としても舞台や映画、テレビドラマなどで幅広く活躍。社会的活動にも熱心に取り組み、警察庁特別防犯支援官も務めています。川崎市を応援する動画プロジェクト「川崎利夫」では、市内の多彩な魅力を発信しています。

(参考資料)

■成田真由美氏への名誉文化大使の称号授与について

・令和7年9月5日に御逝去された成田真由美氏について、日本のパラスポーツをけん引されるとともに、10期20年間の長きにわたり、川崎市市民文化大使として本市の魅力向上に貢献されてきたことから、これまでの功績を称え、川崎市名誉文化大使の称号を授与いたします。

(参考)

成田真由美氏プロフィール

- ・パラリンピック・メダリスト
- ・多摩区在住。アトランタ、シドニー、アテネ、北京、リオ、東京のパラリンピック6大会に連続出場し、合計20個のメダルを獲得。その輝かしい功績と不屈のチャレンジ精神は、多くの人に勇気と感動を与える。

川崎市との主な関わり

- ・市民栄誉賞・市民栄誉特別賞・川崎市スポーツ賞・川崎市市民特別賞受賞。
- ・川崎市市民文化大使
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事
- ・中央教育審議会委員